

モンバサ港開発計画（有償事業案件）

（1）事業背景

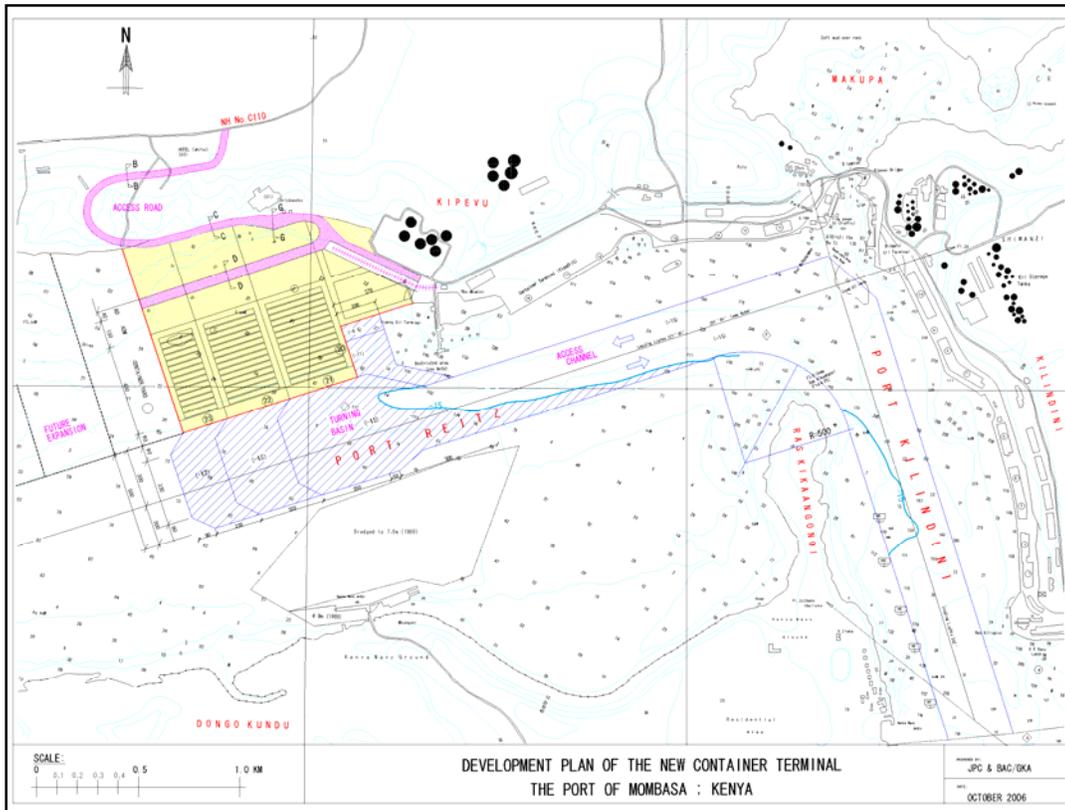
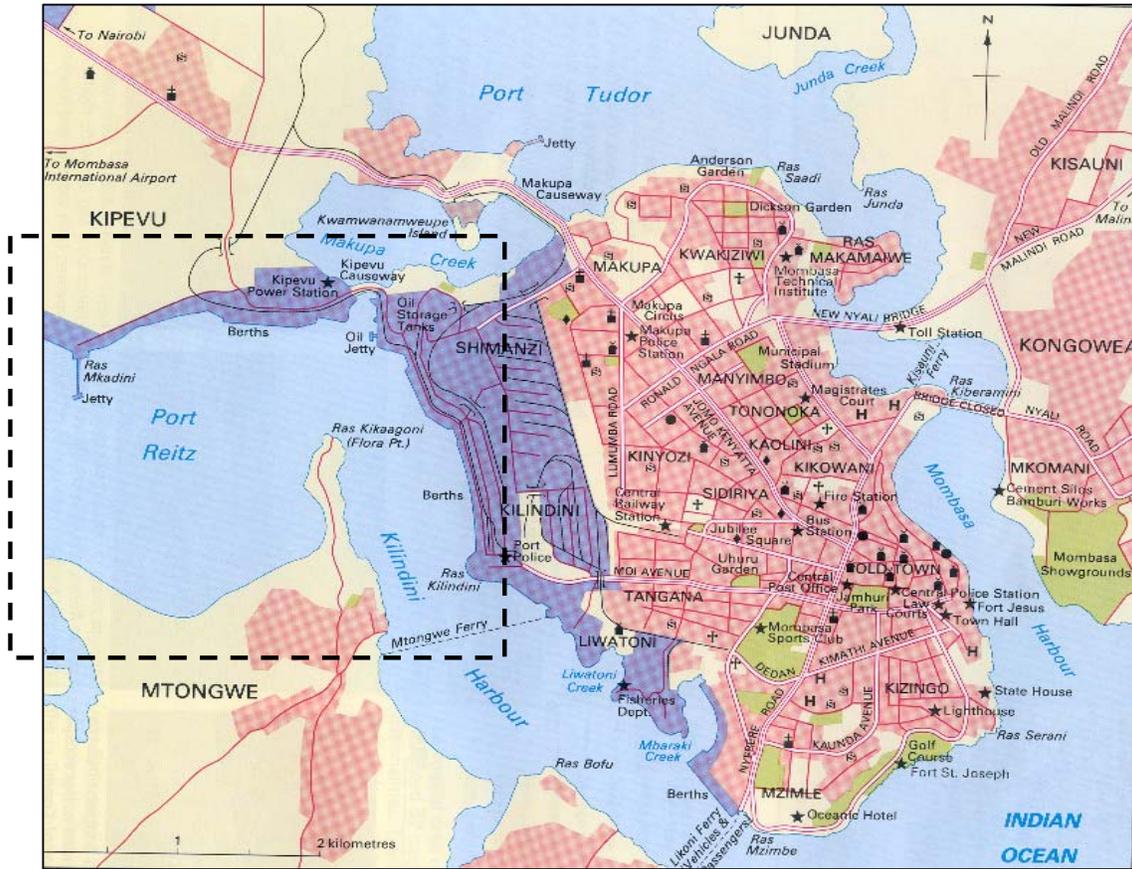
ケニア唯一の国際貿易港湾であり、東アフリカ地域で最大規模のモンバサ港は、ケニアにおける輸出入の拠点であるとともに、内陸国（ウガンダ、ルワンダ、ブルンジ等）の港湾機能も担っている。2003 年以降ケニア経済及び東アフリカ地域経済の復調及び安定成長にともない、モンバサ港における貨物取扱量も増加傾向を辿っている。2006 年にはモンバサ港での貨物取扱能力が年間 45 万 TEU であるところ、取扱総量はその能力を超える約 48 万 TEU へと増大し、荷卸を待つ船の海上での滞留や、コンテナが 1 ヶ月もの期間ターミナルに滞留する等の問題が生じている。その後も年間約 17%の割合で増加を続け、2015 年には約 96 万 TEU に達する見込みで、早晚機能マヒに陥る事が懸念されている。2008 年 6 月にケニア政府により発表された中長期開発戦略である「Vision2030」においても運輸セクターは重要分野とされ、本事業は最重要事業として位置づけられており、モンバサ港における貨物取扱能力の改善に資するものである。

（2）事業目的

本事業は、東アフリカ地域における物流のハブとしての機能を有するモンバサ港における取扱貨物需要の増加に対応するため、同港のコンテナターミナルの拡張及び荷役機械の整備等を行うことにより、港湾運営の効率化を図り、もって同国のみならず近隣諸国を含めた地域全体の貿易促進及び経済社会発展に寄与することを目的とする。

（3）事業概要

- ①協力期間 2008 年 11 月～2015 年 11 月（予定）
- ②供与金額 L/A 2007.11 267.1 億円（償還 40 年うち据置 10 年、年利 0.20%）
- ③協力内容
 - ・コンテナターミナル建設（水深 15m、11m 岸壁 2 バース）
 - ・荷役機械調達（SSG クレーン、RTG クレーン）
 - ・コンサルティング・サービス
（詳細設計、入札補助、施工監理、ターミナルオペレーター選定補助等）
- ④事業実施機関
ケニア港湾公社 (Kenya Port Authority: KPA)
- ⑤受注企業
 - 設計・施工監理：日本港湾コンサルタント 23.8 億円
 - オペレータ選定：リエン外・OCDI・日本工営・MA 6.1 億円
 - 土木：東洋建設株式会社 209 億円
 - 機材：調達手続中 26 億円（予定）
- ⑥その他参考情報
 - ・ 対ケニア円借款事業としては大規模であるとともに、アフリカ初の本邦技術利用（STEP）案件。
 - ・ 土木工事は 2012 年 3 月に着工し、2015 年 7 月までの工期



モンバサ港位置図